



[農業経営部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

3. 水田農業における経営継承のためのチェックリストの作成

[要約]

水田農業において、経営継承に必要な経営者の行動が継承対象及び時期別に確認できるチェックリストを作成した。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 作物・経営研究室

[連絡先] 電話 086-955-0275

[分類] 情報

[背景・ねらい]

水田農業においては、個別経営では跡継ぎ、集落営農では構成員による内部継承が一般的であるが、内部継承が難しい場合でも、第三者継承等や「のれん分け」による起業等で担い手が確保される必要がある。そこで、次世代経営者が安定的に経営継承できる環境を整えるため、水田農業における経営継承のためのチェックリストを作成する。

[成果の内容・特徴]

1. 水田農業における経営継承のためのチェックリストは、①水田作法人版・親族継承用、②水田作法人版・第三者継承用、③集落営農法人版・従事分量配当を受ける組合員等への継承用、④集落営農法人版・正規雇用者等への継承用の4種類で、日常活動、継承者を想定した時点、継承者を決定した時点で経営者が行うべき行動が確認できる。
2. 特に重要な継承対策は、①経営が継続可能な収益の確保と負債整理の目途を立てること、②様々な観点からの継承者の想定と速やかな意向確認、③継承の専門家（岡山県農業経営・就農支援センター等）への継承手続き（継承条件書類の作成を含む）の支援依頼、④想定した継承者に継承時期（例、経営者が65歳）・スケジュール（5～10年程度）と金銭的処遇を含めた詳細な継承条件を書面で示しながら第三者を交えて意向確認を行うことである。

[成果の活用面・留意点]

1. 本チェックリストにより経営者が取るべき行動が継承対象及び時期別に確認できるため継承の取組みが計画的に進められる。
2. 本チェックリストは各農業普及指導センターに配付する。



[具体的データ]

経営継承に必要な経営者の行動（チェックリスト【水田作法人版（親族継承用）】）

1 日常活動

①思い・経営理念の伝承

ミーティング等で継承者だけでなく、従業員等に自分の思いや経営理念、中長期的な経営計画等を伝えていますか。

継承者と定期的な情報交換の機会（日、時期など）を設け、従業員への動機づけや経営継承の重要性を説明していますか。

経営継承に必要な経営者の行動（チェックリスト【水田作法人版（第三者継承用）】）

1 日常活動

①思い・経営理念の伝承

ミーティング等で継承者だけでなく、従業員等に自分の思いや経営理念、中長期的な経営計画等を伝えるとともに意見交換を行っていますか。

②経営実態の把握・説明

経営継承に必要な経営者の行動（チェックリスト【集落営農法人版】）

従事分量配当を受ける組合員等への継承用

1 日常活動

①思い・経営理念の伝承

理事会だけでなく、総会で組合員に法人の経営理念、中長期的な経営計画等を伝えていますか。

②経営実態の把握・説明

経営継承に必要な経営者の行動（チェックリスト【集落営農法人版】）

正規雇用者等への継承用

1 日常活動

①思い・経営理念の伝承

理事会だけでなく、総会で組合員に法人の経営理念、中長期的な経営計画等を伝えていますか。

ミーティング等で従業員等に自分の思いや経営理念、中長期的な経営計画等を伝えるとともに意見交換を行っていますか。

②経営実態の把握・説明

継承すべき経営資産（※有形・無形）を書き出して把握していますか。
 ※有形資産：現金、農地、機械・施設等、無形資産：理念、栽培技術、経営管理手法、販売先、信用等

農地の所在、用排水及び畦畔管理等について、継承可能な方法（例、圃場管理システム（KSAS、アグリノート等）の活用等）を確立していますか。

持続的な地域資源管理について集落で話し合い、ルール作りを行っていますか。

地域における人間関係上の注意点を整理していますか。

キャッシュ・フロー計算書を含む決算書、事業実績等により組合員に経営実態の説明を行っていますか。

負債がある場合、どのように解消するか、目途は立っていますか。

正規雇用を確保可能な業務量・利益は上がっていますか。

図1 水田農業における経営継承のためのチェックリスト

[その他]

研究課題名：水田農業における次世代への経営継承課題の解決策の確立

予算区分・研究期間：県単・令2～4年度

研究担当者：河田員宏、山本晃郎

関連情報等：試験研究主要成果、令4（[85-86](#)、[87-88](#)）